

令和5年度大阪府がん診療連携協議会 第1回薬物療法連携部会 議事録

日 時 2023年5月16日(火) 16時00分～17時15分
場 所 大阪国際がんセンター1階大講堂
参加施設 国指定18施設、府指定49施設、大阪府
参加人数 院外89人、院内17人

1. 大阪府がん診療連携協議会の役割と薬物療法連携部会設置の目的について

(大阪府がん診療連携協議会会長：大阪国際がんセンター総長 松浦成昭)

がん診療連携拠点病院整備事業は、都道府県に協議会を設置し、各二次医療圏でがん医療体制を構築する目的がある。大阪府は8つの二次医療圏にがん診療ネットワーク協議会が設置され、各拠点病院が互いに連携して、がん医療の均てん化を図っている。がん医療の変容に伴い、厚労省・大阪府からの要請も変化しており、大阪府がん診療連携協議会の体制強化、即ち拠点病院間の更なる連携強化が求められている。

このような背景に基づき、大阪府がん診療連携協議会(事務局：大阪国際がんセンター)に薬剤師が主体となる薬物療法連携部会が新設された。がん診療拠点病院同士の連携、研修、カンファレンス、人材育成、拠点病院と保険薬局との連携などを活動の中心とするものである。

薬物療法連携部会の部会長として、大阪国際がんセンター薬局長の高木であることを説明された。

2. 薬物療法連携部会の活動について

(薬物療法連携部会部会長：大阪国際がんセンター薬局長 高木麻里)

大阪府下の各医療圏及び医療機関の状況や課題を共有し、がん薬物療法に関する議題解決に向けた連携・支援体制を構築し、患者さんの安心・安全ながん薬物療法の継続に寄与することを部会の目的とする。

過去より実施している大阪国際がんセンターを中心とする薬剤師の育成のための研修会等の紹介と他の都道府県がん診療連携協議会の薬剤師の活動状況の説明があった。

また、昨今の薬剤師業務における診療報酬改定を絡むトピックスとしては、薬薬連携を挙げ、トレーニングレポートに関する問題提起と大阪府下においてトレーニングレポートの共有化の提案があった。

年間の活動内容として、①現状調査アンケートおよび今後の活動方針と運営方法の検討(6月～9月)、②全体集合研修(10月～2月)、③薬物療法連携部会「がん薬物療法」研修会(1月～3月：ハイブリッド開催)を考えている。

アンケート調査については、大阪府下の医療機関(病院・診療所・保険薬局)の薬剤師が抱えるがん薬物療法に関する問題点や課題を明らかにし、連携・支援体制を構築する。

2024年2月～3月に第2回部会にて年間報告を行う。

以上